

令和2年8月17日（月）

2学期始業式 式辞（放送）

みなさんおはようございます。

いつもより早い時期ですが、2学期が今日から始まります。短い夏休み期間中、皆さんはどんな夏を感じましたか？ 感じたことをぜひ、友達や先生に教えてほしいと思います。

学校では、夏休み中でも園芸委員の皆さんや飼育委員の皆さんが、花壇への水やり や うさぎの世話を分担して行ってくれました。おかげで皆さんを気持ちよく迎えることができました。ありがとうございました。用務員の山崎さんには、東昇降口のわきに、吉川市からいただいたミストシャワーをつけてもらいました。少しでも涼しい気分を味わってもらえると嬉しいです。

まだまだ暑い日が続きますが、2学期も、学校でできる学び、学校でしかできない学びを先生や仲間たちと一緒に取り組んでいきましょう。

さて、今日、皆さんにお話しすることは、「何事も純粹に楽しく取り組むすばらしさ」についてです。

皆さんは、藤井聡太さんの名前を聞いたことがありますか。

藤井さんは、高校生ですが将棋のプロで、先月、いままでで一番若い年齢で将棋のタイトルを取った人です。将棋のプロと簡単に言いますが、希望すれば誰でもなれるのではなく、プロになるにはいくつもの難関を乗り越えなくてはなりません。その割合から言ったら東大へ入学するよりも難しいといわれるくらいです。そんな世界で、タイトルを取るということは、もっと難しく、プロの中でもほんの数人の人たちだけなのです。それを高校生で達成したの

は藤井さんが初めてのことでした。そして今、2つ目のタイトルも取ろうとしています。

そんな藤井さんは、5歳の時におばあちゃんから将棋のセットをプレゼントされたのをきっかけに将棋を始め、すぐに将棋が大好きになりました。どれくらい好きかというと、家での空き時間はテレビやゲームはそっちのけで将棋の本を読みふけり、お風呂ではタイルを将棋盤に見立て、湯気のくもりで将棋の駒を書いていたそうです。小学校からの帰り道で、将棋のことを考えていてドブに落ちたこともあるそうです。

中学生で、これまた一番若い年齢でプロに合格し、そこから公式戦29連勝という新記録を達成したことも大きな話題になりました。

それらのことも素晴らしいことですが、私が本当に素晴らしいなと思ったことは、藤井さんが去年12月に、将棋をする人たちが集まるイベントで答えた内容です。

ファンの方から「将棋の神様にお願いをしたら、どんなお願いをしますか？」と質問されました。そこに参加していた他の人たちは、「すべての試合を勝てますように」とか「どんなことがあっても、負けない力をください」とか答えていました。

その中で、藤井さんは何と答えたと思いますか。こう答えたのです。

「せっかく神様がいるのなら、一緒に将棋がしたいです」。

藤井さんは、自分ではないほかの力で強くしてほしいとか、勝たせてほしいとか思うのではなくて、純粹に将棋が好きで、神様でも誰でもいいから、強い人と将棋をして、その道を究めたいと思っているのだな、そして、そのことを楽しいと感じているのだな、ということがよくわかりました。

これは将棋にかかわらず素晴らしいことだと思います。

例えば、勉強もテストでよい点数を取るためにする、というよりも色々なことを知りたいという純粋な気持ちを持ち、知ることが楽しいと思うようになったらいいなと思いました。

大人になっても知らないことはたくさんあります。皆さんも、楽しく色々なことを身につけてください。

今日の話は、学校だよりも載せたので、おうちの人と一緒に読んでみてください。

最後に、2学期になっても新型コロナの感染がなかなか終わりになりません。これからももう少しの間、熱中症にならないこととコロナ対策を行ってってください。

具体的には、

1つめは、健康カードにあるように、お家で熱を測って、平熱より高いときは、学校へ無理してこないようにしましょう。

2つめは、外から校舎内へ入るときや給食の前、掃除の後などには手をしっかり洗いましょう。

3つめは、室内ではマスクをつけましょう。ただし体育の時や熱中症が心配な時は逆にマスクを外すようにしましょう。

4つめは、換気をしましょう。

5つめは、休み時間など、友達とできるだけ密にならないように気をつけましょう。ということです。

これらをまもって、健康で安全な生活を送りましょう。

以上で始業式の話を終わりにします。